

学力向上ポートフォリオ(児童生徒版)の見方

お子さんと一緒に学習や生活について振り返り、次年度に向けての目標を立てることを通して、お子さんの頑張りを認めたり、励ましたりする資料として御活用ください。

生活習慣等に関する調査

—さいたま市の小学校第6学年の回答状況と自分の回答状況—

質問項目の内、さいたま市が重視している12項目を抜粋して掲載しています。

質問項目	さいたま市の回答状況 (%)	自分の回答状況 (%)
将来に関する意識		
① 将来の夢や目標をもっている。	75.0 %	
学校生活等		
② 学校に行くのは楽しい。	0.0 %	
③ 朝食を毎日食べる。	100.0 %	◎
④ 毎日、同じくらいの時刻に起きている。	100.0 %	◎
⑤ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	50.0 %	◎
学習時間等		
⑥ 家で自分で計画を立てて勉強をしている。	100.0 %	◎
⑦ 読書が好き。	75.0 %	
キャリア教育		
⑧ 学ぶことや働くこと、自分の将来		
規範意識		
⑨ 学校のきまり(規則)		
家庭でのコミュニケーション		
⑩ 家の人と学校での出来事について話をしている。	0.0 %	

表の見方

○さいたま市の回答状況
今回のさいたま市学習状況調査「生活習慣等に関する調査」の各質問項目に、肯定的な回答(「もっている」「どちらかといえば、もっている」や「している」「どちらかといえばしている」など)を選んだ小学校第6学年の児童の割合(%)を示しています。

○自分の回答(今回)
自分が、肯定的な回答をした質問項目に◎が表示されています。

調査結果から、自分の生活で直したいと思うことを記入して、今後の生活に生かしましょう。

さいたま市の回答状況と比較しながら、自分の回答を振り返ることができます。

目標に対するコメントを記入するなどして、お子さんの頑張りを認め、励ますために御活用ください。

保護者より



「学力向上ポートフォリオ(児童生徒版)」は、通知表用のファイルに綴じるなどして、お子さんの成長物語として御活用ください。

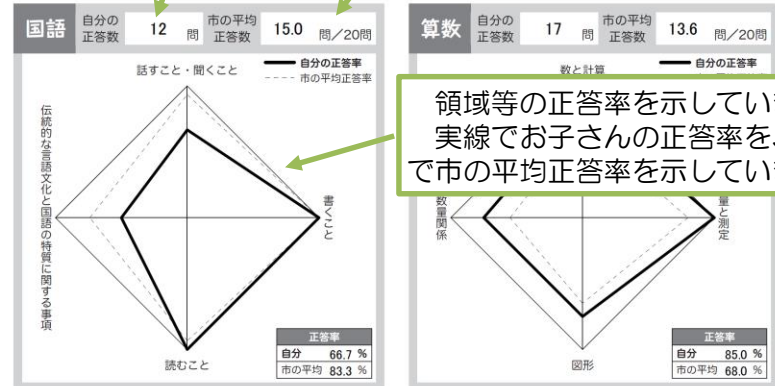
令和元年度 さいたま市学習状況調査【小学校第6学年】

学力向上ポートフォリオ(児童生徒版)

お子さんの正答数を示しています。

市の平均正答数を示しています。分母は問題数を示しています。

さいたま市の平均正答率と自分の正答率を比べて、自分の成長と課題をみつけよう。課題を解決するための取組を工夫しよう。



- 正答数
本調査は、一つ一つの問題に正答できたかどうかをみるために実施しています。そのため、点数ではなく、正答数(正答の合計数)で示しています。
- 市の平均正答率
さいたま市の児童が、各領域や内容の問題に正答した割合(%)を示しています。
- 自分の正答率



さいたま市教育委員会

6年 組 番

名前

【令和元年度発行】
さいたま市立教育研究所

「学力に関する調査」の各設問ごとの解答状況等を確認することができます。
 保護者の皆様は、お子さんの努力を認め、称賛するとともに、どこにつまずきがあるのか一緒に考え、お子さんの学習意欲の向上に御活用ください。

令和元年度 さいたま市学習状況調査【小学校第6学年】

6年 組 番 名前

調査結果表

国語

さいたま市の児童が各設問に正答した割合(%)を示しています。
 ○：正答 ×：誤答 -：無解答を示しています。

領域	大問	小問	平均正答率	自分	設問のねらい
系統的な言語能力の発達に関する事項	1	ア	80.0	×	当該学年の前の学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことができる。
		イ	40.0	○	当該学年の前の学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことができる。
		ウ	100.0	○	当該学年の前の学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことができる。
		エ	100.0	○	使うことができる。
		オ	60.0	×	使うことができる。
	2	二ア	60.0	×	文中の主語と述語の関係を理解している。
		二イ	60.0	×	文中の主語と述語の関係を理解している。
		三	100.0	○	相手や場面に応じて適切に敬語を使うことができる。
	3	100.0	○	用紙全体との関係に注意して書くことができる。	
	4	40.0	×	表現したり理解したりするために必要な語句について、辞書を利用して調べることができる。	
作文	4	100.0	○	自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えることができる。	
	5	100.0	○	相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べることができる。	
読書	6	一	100.0	○	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉えることができる。
		二	80.0	○	目的に応じて、中心となる語や文を捉えることができる。
	7	100.0	○	図の内容を的確に読むことができる。	
話す・聞く	8	100.0	○	相手や目的に応じて、自分の考えが明確に伝わるように内容を選んで話すことができる。	
	9	一	80.0	×	話し手の意図を捉えながら聞くことができる。
		二	100.0	○	話の内容が明確になるように、話の構成を考えることができる。

問題ごとの市の平均正答率を示しています。

国語でがんばりたいこと

国語と算数の平均正答率に網掛けがついている問題は、5年生のときに出席された問題と似た問題が出題されています。昨年度の個人票を見直し、自分の学力の伸びを確認しましょう。



今年度	アドバイス
○	さらに、いろいろな問題にチャレンジしてみましょう。
×	同じような問題をくり返し解いて、力を伸ばしていきましょう。

算数

領域	大問	小問	平均正答率	自分	設問のねらい
数と計算	1		40.0	○	小数の減法の計算をすることができる。
		(1)	80.0	×	分数の減法の計算をすることができる。(H30小5大問2(2)と類似)
		(2)	100.0	○	分数と小数の混合した計算をすることができる。
			80.0	○	使うことができる。
		3	80.0	○	使うことができる。
	量と測定	4	80.0	○	使うことができる。
		5	60.0	○	与えられた図形の面積を求めることができる。
		6	100.0	○	与えられた図形の体積を求めることができる。
		7	80.0	○	時速から分速を求めることができる。
		8	60.0	○	線対称の意味と特徴を理解している。
図形	9	80.0	○	示された数量の間にある関係をとらえ、作業をする速さの比較ができる。	
	10	80.0	○	点対称な図形を完成させることができる。	
		40.0	×	角柱の高さについて理解している。	
数量関係	11	80.0	○	拡大図について理解している。	
		80.0	○	基準量、比較量、割合の関係を捉え、比較量を求める式を選ぶことができる。	
	12	80.0	○	場面を捉え、文字を用いた式に表すことができる。	
	13	40.0	×	円グラフに表されている事柄を読み取ることができる。	
	14	20.0	○	日常生活の事象の解決に、割合を活用して、合理的かつ適切な判断ができる。	
計数と	15	40.0	○	示された計算のきまりを基に、異なる数値の場合でも工夫して計算する方法を式や言葉を用いて記述できる。	

昨年度にも似ている問題が出題されていることを示しています。過去のポートフォリオを使用すると調査結果を比較することができます。

算数でがんばりたいこと

調査結果を見て、お子さんが教科ごとに「がんばりたいこと」を記入する欄です。